

## 新みやしろ郷土かるたの制作趣旨・概要

### 1 みやしろ郷土かるたについて

#### (1) 現行かるたの制作経緯（概要）

①目的 「このかるたには、楽しく遊びながら、郷土宮代の歴史や人物並びに産物や豊かな自然を知り、郷土を愛し、住みよい宮代を築きあげてほしいという願いが込められています。」

※「みやしろ郷土かるたの遊び方」より抜粋

②制作期間 平成 6 年度～平成 7 年度（町制施行 40 周年記念事業）

③制作組織 みやしろ郷土かるた制作委員会（事務局：教育委員会生涯学習課）

④制作方法 読み句と絵札原画を町内小中学校在籍の児童生徒から募集  
→応募総数（再募集を含む）読み札 3,537 点、絵札 1,647 点

⑤制作部数 1,000 セット

#### (2) 活用状況（実績）

##### ①みやしろ郷土かるた大会

平成 7 年度以来継続して開催。現在は教育委員会主催（協力：宮子連）により、町内在住の小学生を対象に開催。※宮子連は、審判員、読み手等を担当。

平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	備考
185 名	198 名	204 名	平成 27 年度は、町内小学校在籍児童の約 14% が参加

##### ②小学校の郷土教育の教材等での活用

・音読発表会の素材など

##### ③その他

- ・寿大学（現みやしろ大学）の講義の教材として活用（H19 年度）
- ・文化財案内板への掲載
- ・町観光情報誌「宮代イーネ」の町の魅力紹介記事での活用（H27.8）
- ・姫北サロン（高齢者サロン）で活用（H27.10～）

#### (3) 課題

##### ①かるたの在庫

在庫がなくなり、平成 27 年度途中から頒布を中止。

##### ②札の題材

新しい村、山崎山雑木林、はらっパーク宮代などの制作後に整備された施設のほか、郷土を代表する偉人として顕彰事業が取り組まれている「島村盛助」など、本来題材となるべきものが含まれていないこと等。

##### ③かるた大会の運営

平成 27 年度の大会規模（参加者数）で、会場、日程、審判員等の運営スタッフの確保等において限界に近い状況に達しており、今後さらなる活性化を目指していくためには、実施運営体制の見直しが必要な状況。

## 2. 新かるたの制作の前提条件

### (1) 行政計画の位置づけ

#### ①平成28年度 教育行政重点施策（新規・拡充施策）

##### みやしろ郷土かるた制作

初版から20年経過のため内容を更新、新たな郷土学習ツールとして多面的に活用

#### ②宮代町まち・ひと・しごと創生総合戦略（地方版総合戦略、平成27年10月策定）

##### 青少年健全育成事業（教育推進課）

かるた大会を通じた子どもたちの郷土愛醸成のため、新たな郷土かるたを町内の児童生徒、保護者、関連団体とともに制作し、かるた事業の発展、活性化を目指します。

### (2) 制作期間

平成28年度中 ※平成29年3月末までに完成

### (3) 平成28年度予算

総額450万円

## 3. 新かるたの制作目的と制作委員会の役割

### (1) 目的（期待する役割）

#### ①青少年の郷土宮代に対する興味と理解

→郷土教育、郷土愛の育成

#### ②かるた競技を通じたチームワークや礼儀の学習

→社会性の育成（健全育成）

#### ③世代を超えて多くの町民に親しまれる

→生涯学習、家庭教育、地域コミュニティ活性化など

### (2) 制作委員会の役割 ※新みやしろ郷土かるた制作委員会設置要綱第2条

#### ①かるたの読み句及び絵札原画の募集に関すること。

→募集要項（読み句、絵札原画）、読み句の題材例・題材例解説書等

#### ②かるたの読み句及び絵札原画の応募作品の選定に関すること。

→選定方法と選定作業（採用作品の決定）

※応募作品事前選定会（町内小中学校教諭）による1次選定

#### ③かるたを活用した事業やその普及方策の提案に関すること。

→競技ルール、かるた完成品の仕様（札のデザイン、パッケージデザイン等）

かるた大会の活性化と世代を超えた多くの町民に親しまれるための提案

（既存大会の活性化（課題解決）、新たなイベント等、かるたのPR方法等）

## 4. 新かるたの制作方法とスケジュール概要

### (1) 制作方法（読み句と絵札原画の募集方法）

#### ①読み句

町内小中学校在籍の児童生徒及び一般公募とする。

→多くの応募作品を確保するとともに、幅広い世代に親しまれるかるたとする観点から一般公募も行う。

→題材の重複を避けつつ、すべてのかな文字「音」の札を決定する（再募集を回避する）ために必要な応募作品を確保するため、町内小中学校在籍の児童生徒への募集については、学校単位で指定音等を設定する。

#### ②絵札原画

町内小中学校在籍の児童生徒の公募とする。

→児童生徒の応募意欲を喚起するとともに、デザインの統一感を確保する観点から、一般公募を除外した。

→読み句と同様の理由から学校単位で応募対象（読み句）の指定等を行う。

### (2) 制作スケジュール概要

時期	内 容
5月	□第1回制作委員会（5月中旬） ・読み句募集要項、題材解説書等の確認
6月 ～ 7月末	□読み札（句）の募集 ・町内小中学校児童生徒 ・一般公募 ※町HP、広報7月号 □制作委員会（月1回程度開催） ・競技ルール、普及・活用方策等の検討
8月	□制作委員会 ・読み札の選定 ※2～3回開催
9月 ～ 11月末	□読み句の選定結果発表 □絵札原画の募集 ・町内小中学校児童生徒（9月～11月末） □制作委員会（月1回程度開催） ・競技ルール、普及・活用方策等の検討
12月	□制作委員会 ・絵札原画の選定 ※2～3回
1月 ～ 3月	□絵札原画の選定結果発表 □制作委員会 ・競技ルール、普及・活用方策等の検討（まとめ） ※委員会は、3月末で終了 □新かるた完成（納品）
4月以降	□小学生かるた大会（6月末～7月上旬）※作品表彰式 □制作委員会の提案（普及・活用方策等）に基づく事業実施

## 【参考】現行かるたの制作経緯

- 制作 作：平成6年度～平成7年度
- 所 管：宮代町教育委員会（生涯学習課）
- 制作主体：みやしろ郷土かるた制作委員会
  - [役割] 札（読み句、絵札原画）の募集及び選定
  - [構成] 教育長（委員長）、文化財保護委員、学識経験者（宮代町子ども会育成連絡協議会会長）、町内小中学校教諭（国語、社会、図工美術）、教育委員会指導主事、企画広聴課長、教育総務課長、生涯学習課長 合計11名
- 制作方法：読み句、絵札原画ともに町内小中学校の児童生徒からの公募
- 制作部数：1,000セット
- 経過

平成6年度	【平成6年】	
	7月19日	第1回みやしろ郷土かるた制作委員会（募集要項等の決定）
	8月19日 （登校日）	読み句募集予告（募集対象題材解説書の配布）
	9月5日	<u>読み句募集開始</u> ※一人5点以内
	10月7日	<u>読み句募集締切</u> ※応募3,019点
	～	事前審査
	11月22日	第2回みやしろ郷土かるた制作委員会（読み句の審査決定）
	12月1日	<u>読み句（11句）再募集</u>
	12月9日	<u>読み句再募集締切</u> ※応募518点
	12月16日	第3回みやしろ郷土かるた制作委員会 （再募集読み句の決定→全読み句決定、絵札募集案）
	12月20日	<u>絵札用原画の募集</u> ※一人1点
	【平成7年】	
1月9日	<u>絵札原画の募集締切</u> ※応募1,609点	
2月1日	第4回みやしろ郷土かるた制作委員会（絵札審査決定）	
2月3日	<u>絵札原画（9句）再募集</u>	
2月28日	<u>絵札原画再募集締切</u> ※応募38点	
3月2日	第5回みやしろ郷土かるた制作委員会 （絵札最終決定、発表会日程等）	
平成7年度	6月16日	絵札制作者の発表
	11月4日	みやしろ郷土かるた表彰式並びに発表会
	11月5日	頒布開始（1部650円）
	12月22日	第1回「みやしろ郷土かるた大会」 ・主催：宮子連、後援：宮代町教育委員会 ・エントリー：29チーム